

南ア月報
(2022年9月)

【内政】

- ANC、同党主要幹部の推薦に係る手続を開始
- フリーステート州 Jagersfontein での鉱山ダムの決壊
- 南ア労働組合会議 (COSATU) の national elective conference の開催

【外政】

- ラマポーザ大統領の米国訪問
- ラマポーザ大統領の英国訪問
- パンドール大臣の第 77 回国連総会出席
- パンドール大臣、BRICS 外相会合を主催

【経済】

< 経済指標 >

- 消費者物価
- 為替レート
- 製造業生産高
- 鉱業生産高
- GDP 成長率

< 出来事 >

- 南ア準備銀行 (SARB) が政策金利を 6.25% に引上げ
- ステージ 6 の計画停電の実施

1 内政

●ANC、同党主要幹部の推薦に係る手続を開始

11日、本年12月のANC national conferenceに係り、同党主要幹部の推薦に係る手続が同党にて開始された。

●フリーステート州 Jagersfontein での鉱山ダムの決壊

11日、フリーステート州 Jagersfontein の鉱山ダムが決壊し、発生した洪水により周辺コミュニティに家屋損害等の被害が発生した。

●南ア労働組合会議（COSATU）の national elective conference の開催

26日から29日まで、南ア労働組合会議(COSATU)は、14回目となる national elective conference を Midrand にて開催した。

2 外政

●ラマポーザ大統領の米国訪問

16～18日、ラマポーザ大統領は米国を訪問し、バイデン大統領と南ア・米首脳会談を実施した。同会談において、貿易・投資、公正なエネルギー移行、安全保障、ロシア関係、保健、国連改革と多国間主義等に関して意見交換を行った。

●ラマポーザ大統領の英国訪問

19日、ラマポーザ大統領はエリザベス女王の国葬参列のために英国を訪問した。

●パンドール大臣の第77回国連総会出席

21日、パンドール大臣は国連総会に出席した。ラマポーザ大統領は、南アにおける電力問題に対応するために同総会を欠席した。

●パンドール大臣、BRICS 外相会合を主催

22日、パンドール大臣は、第77回国連総会主席のために訪問中の米国において、BRICS 外相会合の年次会合を開催した。同会合では、政治、安全保障、経済、金融、BRICS 域内の活動等について意見交換が行われた。南アは、2023年のBRICS議長国を務める。

3 経済

<経済指標>

●消費者物価

2022年7月の年間消費者物価インフレーション率は7.6%で前月(7.8%)に比べ0.2%下降した。消費者物価指数(CPI)は前月から0.2%上昇した。(南ア統計局、9月21日)

●為替レート

2022年9月30日付(南ア準備銀行)

8.0668 ランド/円

17.8937 ランド/米ドル

17.6038 ランド/ユーロ

●製造業生産高

2022年7月の製造業は、前年同月比3.7%増。主なプラス要因は、食料品及び飲料で9.7%増、自動車及び輸送機器関連製品で12.1%増。

また過去3ヶ月（2022年5月～2022年7月）の季節調節後生産高は2022年2月～2022年4月の3ヶ月から4.2%減。製造業10部門中の7つの部門で生産高減となった。（南ア統計局、9月8日）

●鉱業生産高

2022年7月の鉱業生産高は、前年同月比8.4%減。主なマイナス要因は、金で19.7%減、白金で12.2%減、鉄鉱石で20.4%減。

また過去3ヶ月（2022年5月～2022年7月）の季節調節後生産高は2022年2月～2022年4月の3ヶ月から0.2%増となった。（南ア統計局、9月13日）

●GDP成長率

南ア統計局は、2022年第2四半期（4月～6月）のGDP成長率を発表。2022年第1四半期のGDP成長率は、前期比マイナス0.7%となった。統計局によると、計画停電（Load-Shedding）及びKZN州の大雨・洪水被害がマイナスの大きな要因となり、とりわけ製造業へのダメージが大きかった。過去、2四半期連続でプラス成長だったことを考えると、今回の結果は残念なものとなった。（南ア統計局、9月6日）

<出来事>

●南ア準備銀行（SARB）が政策金利を6.25%に引上げ

9月22日、南ア準備銀行は金融政策決定会合を開き、前回時（今年7月）に続けて、本会合においても0.75ポイントの利上げを決定。昨年11月の委員会以来、6会合連続での利上げで、9月23日から6.25%となった。金利委員会メンバーのうち、3名が0.75%利上げ、2名が1.00%利上げを主張した。なお、21日に米国FRBが0.75ポイントの利上げを行ったことを受けて、当地エコノミストらの多くが、南ア準備銀行も0.75ポイントの利上げを行うと考えていた。

●ステージ6の計画停電の実施

9月18日、Eskomは、本年7月以来史上3度目となるステージ6の計画停電を実施。Kusile火力発電所（ムプマランガ州）とKriel火力発電所（ムプマランガ州）で発電ユニットが故障したことが原因。9月19日の夕方には、6770MWが送電網から切り離されており、これは7000MWを送電網から切り離すステージ7の計画停電に迫る数値であった。経済調査局（BER）によると、今回の停電の激しさは、2022年第2四半期に経験した前期比マイナス0.7%のGDP成長率からの回復を脅かす。ラマポーザ大統領は、この危機に対処するため、米国と英国への国際訪問を短縮した。